

「ヒト」(人材育成研究)グループミーティングメモ

*日時：2005(平成17)年05月11日(水)

12:00~14:30

*場所：慶應大学三田キャンパス カフェテリア

*出席者：坂口(東洋)・池田(東京音楽)・竹田(中央学院)・宮岡(中央)・小倉(武蔵)

*記録作成：小倉(武蔵)

*備考：越後谷(国土館)は業務により欠席

【順不同・敬称略】

宿題項目として設定されていた「図書館スタッフ初任者研修プログラムの項目を各自が考案して持ち寄る」という命題のもと、それぞれから発表を行った。

以下、討議内容をポイント整理した状態で、箇条書きすることとする。

- ・「図書館初任者」とは、どのくらいまでをさすのか、ということ。
各自その考え方に温度差があることが判明した、ということ。
- ・机上の空論にたくない、むしろ実現性の高い研修プログラムを目指したい、ということ。
- ・研修プログラムの内容は想定である程度このグループでも考えられるが、はたしてそれを実践できるか、ということ。
むしろ「提案講座」のコンセプトを強く明示したほうがいいのではないか、ということ。
提案先は「文部科学省」、「私立大学図書館協会」、「NII」が妥当な部分ではないか、ということ。
- ・将来的には、このグループスタッフが「図書館研修プログラム」の統括団体を設立し、大学図書館のみならず、館種をこえた総合的な図書館の活性化に貢献できないだろうか、ということ。
「図書館研修プログラム」のデリバリープロ、ということ。

次回までの宿題事項として、下記項目で結論とした。

今回持ち寄った「図書館初任者プログラム」を再検証し、総括したプログラムに再編集する。

担当 坂口

図書館員対象の研修プログラムの種類をリサーチし、リストする。さらにリストされたプログラムの有効性を検証する。

有効性の検証方法には、様々な方法があるだろうが、できれば実体験者にヒアリングをするようにする。

学内に研修プログラムが体系化されているにもかかわらず、現実問題として機能していない(できない)場合の問題点を検証する。

研修は実施されているが、スポット的なもので終わっており、その研修のフォローアップがなされていない。

以上